

ひよこ組

だんだん暑い日が増えて、夏の訪れを感じるこの頃。暑さも気にせず元気いっぱいのひよこ組です。

最近、「だるまさんの」の絵本が大好きな子どもたち。「だ・る・ま・さ・ん・の〜♪」という繰り返しのフレーズを覚え、フレーズに合わせて身体を左右に揺らしたり、手足をバタバタさせたりと大喜び。また、「ずっとあいこ」という手あそびも好きで、隣のクラスから聴こえてくると、食事中でも「あっ！」と表情が変わり、思わず身体が反応してしまう程です。

さて、7月から晴れた日は、水あそびになります。また、園庭で水や砂を使った遊びに加わることもあります。泥シミは落ちにくいので、汚れてもよい着替えのご用意をお願いします。

こあら組

日に日に暑さが増していますが、子どもたちは元気いっぱい笑顔で遊んでいます。クラスのお友だちの顔や名前を覚えて、「〇〇ちゃん」「〇〇くん」と呼び合ったり、笑い合ったりする姿も見られるようになりました。指絵の具にも挑戦し、トントンとスタンプしたり、こすってのばしてみたりと、絵の具の柔らかい感触を味わいました。雨上がりの園庭では、砂あそびを楽しんだり、アリやチョウを見つけると「あ！」と嬉しそうに指を差し、観察をする子どもたちです。

今月からは水あそびが始まります。コップ飲みが上手になってきたのでこまめに水分補給をし、休息もとりながら元気に夏を過ごしていきます。

うさぎ組

毎日暑い日が続いていますが、子どもたちは虫探しや泥あそびを楽しんでいます。

先月は初めての巧技台に挑戦しました。巧技台を組み立てると、子どもたちは目を輝かせてとても興味津々でした。最初は少しドキドキしながら階段をのぼっていた子も、繰り返し遊ぶうちに自信を持って楽しむ姿が見られるようになりました。

7月に入ると、子どもたちが楽しみにしている水あそびが始まります。ご家庭でも水着を着る練習をしてみてください。一人ひとりが楽しく安全に水あそびが出来るように爪切りや毎日の体調チェックなどご協力をお願い致します。

衣類の名前が消えてしまっている物もありますので、はっきりと記名をお願いいたします。

年少組

日に日に暑さが増してきました。7月7日の七夕に向けて、三角つなぎなどの「七夕飾り」を作っています。また願い事を考えながら「短冊作り」も行い、七夕を心待ちにする様子が見られます。七夕前に持ち帰りますのでお家でも飾ってみてください。



7月よりプールが始まります。初めての大きなプールで友だちと楽しく遊びながら水に慣れていきましょう。水着にも着替えますので、ご家庭でも着脱の練習をお願いします。園でも自分で意欲的に行えるよう、励ましながら見守っていきます。

年中組

梅雨に入りじめじめした日も続いていますが、子どもたちは蒸し暑さに負けずに遊ぶ姿が見られます。年中組では七夕に向けて、短冊を作って願い事を書いたり、はさみや糊を使う貝つなぎや三角つなぎといった「七夕飾り」を作ったりと、様々な挑戦をしています。また、製作だけでなく、七夕の由来を知ることで、みんなで日本古来の行事を楽しんでいます。

7月1日よりプールが始まります。身体を清潔にすることや、準備体操するなど、決まりを守り、水を怖がらずに楽しめるよう援助していきます。着替えも自分で出来るよう、繰り返し練習していきましょう。



年長組

日本古来の行事である、七夕について知り、興味を持って七夕飾りの製作を行っています。

7月よりプールが始まります。宿泊保育での経験を活かし、エビカニクスやちょっとだけ体操を準備運動に取り入れていきます。約束事を守りながら、水に潜ることを目標に水遊びを楽しむほか、自分で着替えを行えるよう声かけをしていきます。

暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をかきながら遊んでいます。暑いときには日陰で遊ぶことや、汗をかいたときにはハンカチを広げて自分で拭くなど、夏ならではの過ごし方を伝えています。夏休みに入ってからでも自分で意識して行えるといいです。規則正しい生活を送り、進んでお家の人のお手伝いをしましょう。

《幼児 7月の目標》

◎自分の荷物は自分で持つ

自分の荷物を自分で持つことは、自分で管理しているということになります。特に送迎時は荷物を持つことを習慣づけるのにいい機会です。小さい頃から習慣づくと、それが「当たり前」になります。駐輪場まで、家まで、帰りは門を出るまでなど、近い距離から始めると子どもも苦にならずにチャレンジできます。ぜひ励まし、褒めながらやってみてください。

◎一人で着替えができるようになる

年少：できないところは手伝ってもらいながら水着に着替える。脱いだ服を畳む。

年中：昨年の経験を思い出し、自分で、椅子の下に上履きと靴下、椅子の上に脱いだ服を畳んで置き、水着に着替える。

年長：自分の着替えを手早く行う。裏返しを直したり、次に着るときの順番を考えて置く。

◎喜んでプール遊びに参加する

年少：水に触れ、少しずつ水の心地よさを味わう。

年中：顔に水がかかっても泣いたりせずに水遊びを楽しむ。

年長：水の危険性について認識し、プールでの約束事を守り、安全に参加する。

その他、滑りやすいのでプールから出たらゆっくり歩く、シャワーを浴びてタオルで体を拭くことなど、約束事を知らせていきます。